

市政記者各位

博多駅の活力と賑わいをさらに周辺につなげていく 『博多コネクティッド』始動！！

1 概要

福岡市の博多駅周辺では、2011 年の九州新幹線開業とあわせて駅を中心に賑わいをみせている一方で、九州の陸の玄関口として更なる発展が期待されております。

このため、地下鉄七隈線延伸やはかた駅前通り再整備など、交通基盤の拡充とあわせ、容積率などの規制緩和により、耐震性の高い先進的なビルへの建替えや歩行者ネットワークを拡大するとともに、歴史ある博多旧市街との回遊性を高めることで、都市機能の向上を図っていきます。

この『博多コネクティッド』をハード・ソフト両面から取り組んでいくことで、多くの人を訪れる九州の陸の玄関口である博多駅の活力と賑わいを、さらに周辺につなげていきます。

2 対象エリア

博多駅から半径約 500m、約 80ha

3 主な誘導策

- ・福岡市独自の支援制度等：福岡市都心部容積率特例制度
：ビルへのテナント優先紹介
：行政によるビルの PR
- ・国の支援制度：特定都市再生緊急整備地域（金融支援、税制優遇など）
- ・国家戦略特区関連：国家戦略道路占用事業

※航空法の高さ制限の承認については、計画毎に周辺の既存物件の高さを踏まえ、国土交通省との相談となります

【問い合わせ先】

住宅都市局都心創生課 このみ 許斐、井上（電話：092-711-4426 内線2890）

『博多コネクティッド』始動!!

主なプロジェクト

2012.12
バスターミナルを
経由するデッキ

2011.3
博多口駅前広場
JR博多シティ

2016.4
800%→1,100%
緩和後の
容積率
KITTE博多

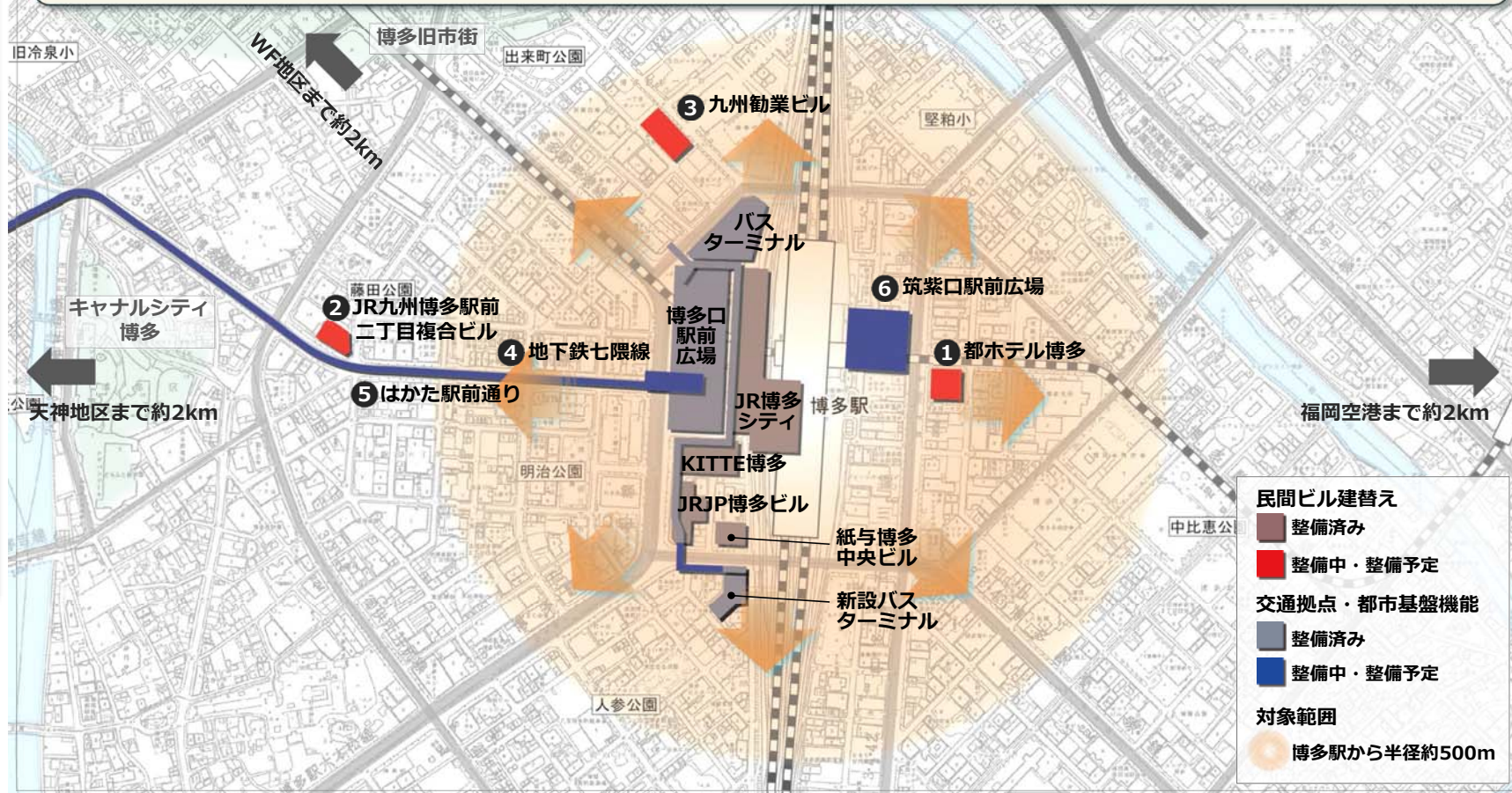
2016.4
800%→1,140%
JRJP博多ビル

2018.12
新設バスターミナル

歩行者デッキ(延長530m)

今後整備(延長130m)

福岡市の博多駅周辺では、2011年の九州新幹線開業とあわせて駅を中心に賑わいをみせている一方で、九州の陸の玄関口として更なる発展が期待されています。このため、地下鉄七隈線延伸やはかた駅前通り再整備など、交通基盤の拡充とあわせ、容積率などの規制緩和により、耐震性の高い先進的なビルへの建替えや歩行者ネットワークを拡大するとともに、歴史ある博多旧市街との回遊性を高めることで、都市機能の向上を図っていきます。この『博多コネクティッド』をハード・ソフト両面から取り組んでいくことで、多くの人が訪れる九州の陸の玄関口である博多駅の活力と賑わいを、さらに周辺につなげていきます。



民間ビル建替え

- 整備済み
- 整備中・整備予定

交通拠点・都市基盤機能

- 整備済み
- 整備中・整備予定

対象範囲

- 博多駅から半径約500m

交通基盤整備 II

ハイクオリティホテル

2019秋
600%→875%

2019秋
600%→835%

1 都ホテル博多
地下通路

2 JR九州博多駅前二丁目複合ビル
(ホテル)

博多旧市街との連続性

2020春
500%→685%

3 九州勤業ビル
(歴史を感じさせる景観形成)

今後予定の基盤整備

4 地下鉄七隈線

5 はかた駅前通り

6 筑紫口駅前広場
(再整備検討中)

さらなるプロジェクト誘導